

ハートフルスペースで 次への一歩を ふみだそう

安心して過ごせる居場所

- 安心して過ごせる居場所の中で心をやすめ、スタッフや利用者との関わりや様々な体験をとおして、エネルギーをたくわえ、自分の思いを表現し、してみたいことを見つけることのできる場所となるよう、「ハートフルスペース」を運営しています。
- 自分が何をしたいのかじっくりと考え、次への一歩をふみ出すサポートをします。



お気軽にご相談ください。

- 「このままでいいのかな・・・」「これから先のことが心配・・・」本人や保護者の方の不安な気持ちや悩みをご相談ください。
- カウンセラーもお話をお聞きします。訪問による相談も行っています。

本人の思いを大切に

- 「こんなことがしてみたいな。」一人ひとりの思いを大切にします。進路に向けた学習をしたり調理や魚釣りなどの体験活動を楽しんだり、ときには、リラックスの方法や電話の受け答え・面接練習などをすることもあります。
- みんなと活動したり一人でゆっくりと過ごしたり、過ごし方も様々です。「ハートフルスペース」は一人ひとりの思いに寄り添いながらサポートします。



次への一歩



進路支援

- 他の高校への転編入や高等学校卒業程度認定試験（高卒認定試験）、就労体験といった「学びたい」「働きたい」気持ちをサポートします。また、生活や病気、就労に関すること、行政サービスに関することなど、情報提供や関係機関へのつなぎをサポートします。
- ソーシャルワーカーも相談にあたります。

進路情報

じっくり考える

してみたい伝えたい

様々な体験

仲間との活動

エネルギーをたくわえる

ゆっくりと心をやすめ



こんな人が ハートフルスペースを 利用しています

高校をやめました。これからどのように進んでいくかハートフルスペースで考えています。



高校に入学した後、学校に通えなくなりました。

今は生活リズムを整えることを目標にハートフルスペースに通っています。



中学校のときに不登校でした。今はハートフルスペースに通いながら次の進路に向けて勉強しています。



わたしたちは こんなふうに ステップアップしました

Aさん 高校生

- ◇相談をしながら高校生活を過ごしています。
- ◇少しずつ自信がもてるようになり、バイト生活も充実しています。

通信制高校に入学してから毎日ハートフルスペースに通い、通信制の課題レポート作成をしました。はじめはスタッフに相談しながらやっていましたが、7月頃からは、わからないところは学校で質問するようにして自分の力で仕上げるようにしました。

午後は、自分のしたいことをしたりハートフルスペースの行事に参加したりしました。ハートフルスペースにはキーボードがあるのでスマホを使いながら練習し、曲の形ができたしたら県教育センターにあるピアノも借りて弾いたりしました。だんだん自信がもてるようになり、11月の「ふれあいタイム」では皆の前で演奏しました。

高校生活での悩みごとはスタッフの人に聞いてもらったり、学校の先生に相談したりして乗り越えてきました。

アルバイトがしたいと思いハートフルスペースのソーシャルワーカーに相談し、若者サポートステーションに通いながらアルバイトを始めました。慣れてくるとバイト日数も増えてきたので、ハートフルスペースの通室も少しずつ減らし、今では週に1回の通室をしています。

Cさん 社会人

- ◇ハートフルスペースは、「安心できる場」「外に出るための第一歩」でした。
- ◇仕事をしながら趣味を楽しんでいます。

ハートフルスペースに来た頃はマスクをして、一人で好きなイラストを描いて過ごしていました。はじめは会話が苦手でしたが、色々な楽しい体験を通じて仲間ができました。一人では怠けてしまいそうな通信制高校のレポートも、ハートフルスペースでは人の目もあるのががんばれました。学校よりも心の通じ合える仲間ができて学校よりも安心できる場となり、マスクもしなくなりました。いつしか「ハートフルスペースのお姉さんの存在」と言われるようになり、退室のときは「さみしい」という気持ちと「がんばらない」という気持ちでいっぱいでした。

卒業後は仕事に就き、かつての仲間と旅行をしたり趣味を生かした生活を楽しんだりするようになりました。最近のトピックスはマイカーを購入したことです。

自分にとってハートフルスペースは「外にでるための第一歩」だったのだと思います。

Bさん 社会人

- ◇高校卒業程度認定試験にチャレンジしました。
- ◇その後働く道を選び、今は仕事を続けながら放送大学で学んでいます。

自分は高校をやめた後、高校卒業程度認定資格試験にチャレンジすることにしました。その一方で、大学進学する資金を貯めるために、ハートフルスペースのスタッフの人と一緒に見ていた求人チラシをもとに、近くのスーパーの清掃のアルバイトの面接を受けることになりました。職場に入ると、食品を扱う部署で働かせてもらい、次第に責任のある仕事を任せられるようになりました。

自動車免許もとり、生活が大きく変わっていきました。その後、アルバイトで始めたスーパーの正社員になり、今は働きながら放送大学で学んでいます。



学校に行けなくても進路が開けるのだということをお母さんに教えてもらいました。
(退室式の日、お母さんの言葉より)

Dさん 大学生

- ◇仲間との関わりの中で、自分の進路を見出していきました。
- ◇来春、大学を卒業します。

わたしは週末に通信制高校に通いながら、平日は2回ハートフルスペースで過ごし、趣味の手芸や小説を書いていました。一人の活動から始めて、次第に他の仲間と関わりが持てるようになり、お互いの得意なことに共感したり、その人から刺激を受けたりして絵に興味がありました。

手芸の道をめざしていたわたしですが、高校3年生の頃には芸術系の大学に行きたいと思い始めました。大学生活中はハートフルスペースの仲間が遊びに来てくれてお互い元気の充電をしたり、わたしも大学が休みに入るとハートフルスペースに顔を出したりしました。

大学も来春卒業を迎えます。その後は地元に戻って、自分の専門が生かせる仕事に就く予定です。大変だと思いますが、やりがいをもって楽しく仕事したいです。

【問合せ先】 ☎ 0857-28-2322

鳥取県教育委員会事務局
いじめ・不登校総合対策センター



鳥取 ハートフルスペース

